

シンフォニー

Symphony Spring 2013



郡山市イメージキャラクター がくとくん



特集

男女共同参画に関する市民意識調査結果報告 P2~5

郡山市男女共同参画センター開館 10周年記念
第11回郡山市男女共同参画フェスティバル報告 P6.7

男女共同参画課からのお知らせ P8

シンフォニー(交響曲)には、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。

男女共同参画課 からのお知らせ

6月23日~29日は
郡山市男女共同参画
推進週間です!

郡山市では、国に合わせて6月23日から29日までの1週間を「郡山市男女共同参画推進週間」と定め、この期間中、川柳コンクールやさんかくプラザでの記念講演会等の様々なイベントを実施します。皆さまの参加をおまちしています。

第10回男女共同参画 川柳コンクール作品募集

日常の中で、男女間の「あれ?」「どうして?」「ちょっと言わせて!」と感じていることなどを川柳にしてみませんか?

応募資格 市内在住・在勤・在学の方

募集期間 5月13日(月)まで

応募方法 はがき・FAX・Eメール・または専用応募用紙で、男女共同参画課まで

◎小中学生、高校生、親子の部へご応募いただいた方へは参加賞があります。

第5回家事するあなた(男)は カッコイイ!!フォトコンテスト作品募集

家事ダンってステキ♥♥ 家事を頑張る、そんなイケてる男子を激写!

応募資格 市内在住・在勤・在学の方

応募作品 カラープリント2L以上(未発表のもの)

募集期間 5月20日(月)まで

応募方法 郵送またはさんかくプラザへ直接

宛先 男女共同参画センター(さんかくプラザ)
〒963-8876 郡山市麓山二丁目9-1
電話/024-924-0900

市民自主企画イベント募集

人権や男女共同参画に関する講座やイベントを企画してみませんか?

対象 市内で活動していて、企画から準備、広報、当日運営等、自主企画が可能なグループなど(講師謝礼等は市が負担いたします。詳しくはお問い合わせください。)

募集期間 5月7日(火)まで

応募方法 郵送または男女共同参画課へ直接

「女性人材リスト」にあなたも登録しませんか?!

郡山市では、各種計画の策定や市政運営などの政策方針決定の場に、市民の皆さまに参画していただくため、審議会や委員会を設置しています。この審議会等に、女性委員を積極的に登用するため、委員候補者を登録した「女性人材リスト」制度を設け、随時登録者の募集を行っています。

審議会等は、教育、福祉、環境など様々な分野がありますので皆さまの知識や経験を市政に反映させる絶好の機会です。ぜひご登録ください。

対象者 市内に居住又は勤務する20歳以上の女性の方で次に該当する方

- 経済、教育、福祉、環境、建築、土木、農業、商業、観光などの各分野の専門的知識や技能をお持ちの方
- 市政について関心があり、審議会等に参加する意欲のある方

登録方法 「人材リスト登録同意書」に必要事項をご記入の上、男女共同参画課へお持ちください。

※「人材リスト登録同意書」は、市ウェブサイトからダウンロードできます。

こおりやま男女共同参画情報紙『シンフォニー』vol.38 spring 2013

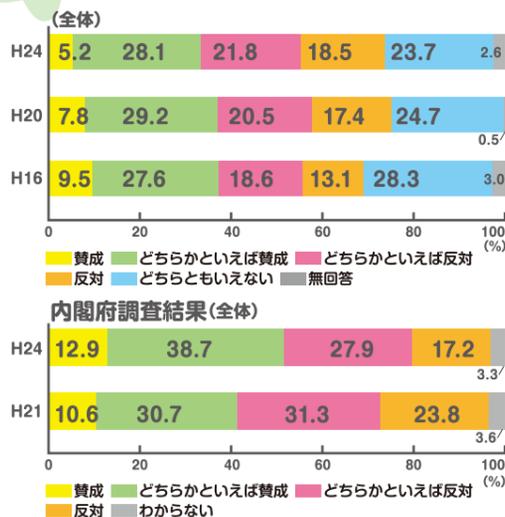
編集・発行 郡山市市民部男女共同参画課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7 TEL.024-924-3351/FAX.024-921-1340

Email danjokyoudou@city.koriyama.fukushima.jp



あなたは、「男は仕事、女は家庭」という従来の固定的意識についてどう思いますか



みんなの気持ちを知って、よりよい男女共同参画社会へー

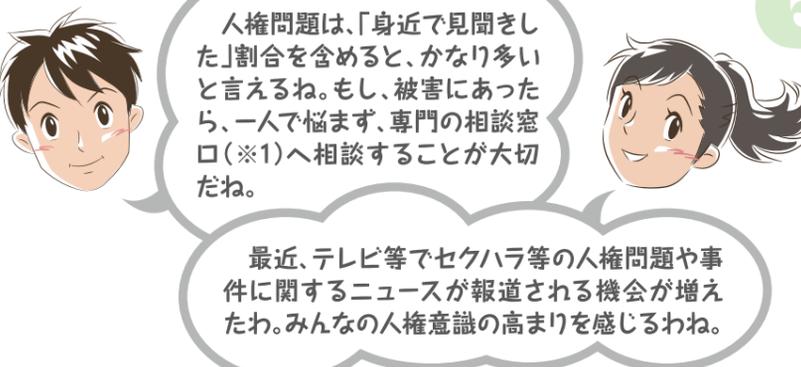
男女共同参画に関するアンケートを実施しました！

郡山市では、「男女共同参画のまち郡山」の実現を目指して、平成11年度、16年度、20年度に続いて4回目となるアンケートを実施しました。前回調査から4年が経過し、その間には東日本大震災が発生しました。この間、市民の皆さまの意識はどのように変化し、今、何が求められているのでしょうか。過去の結果と比較しながら、今回の結果の一部を、男女共同参画について学習中の2人と一緒に見ていきましょう。また、国(内閣府)においても、平成24年10月に「男女共同参画社会に関する世論調査」を全国規模で実施しており、その結果の一部も併せてご紹介いたします。(調査概要:市内に居住する満20歳以上の男女、3,000人(各1,500人)を対象に調査。回答率30.6%。)

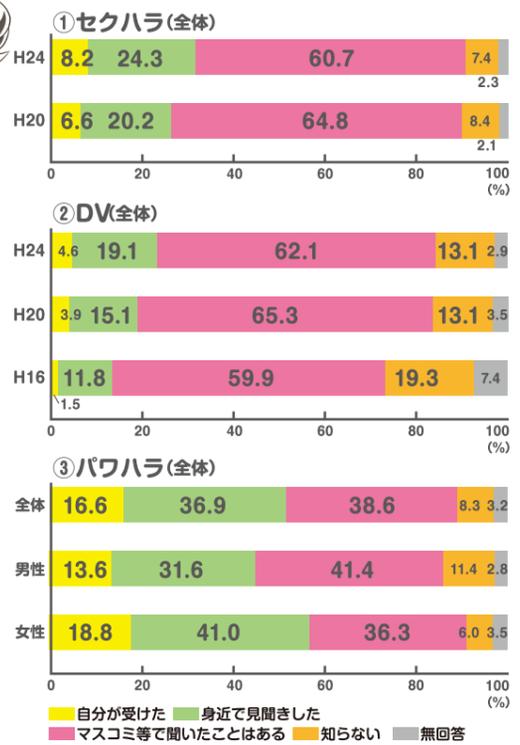


郡山市では、「賛成」・「どちらかといえば賛成」が前回に比べて3.7%減少していますが、それとは対照的に、内閣府調査結果では、平成21年の調査結果と比較すると、10.3%増加しています。年代別に見ると、20代では「賛成」・「どちらかといえば賛成」が前回より6.2%増加し、全国でも約20%増加しており、若い世代の意識の変化が顕著です。

2 人権について

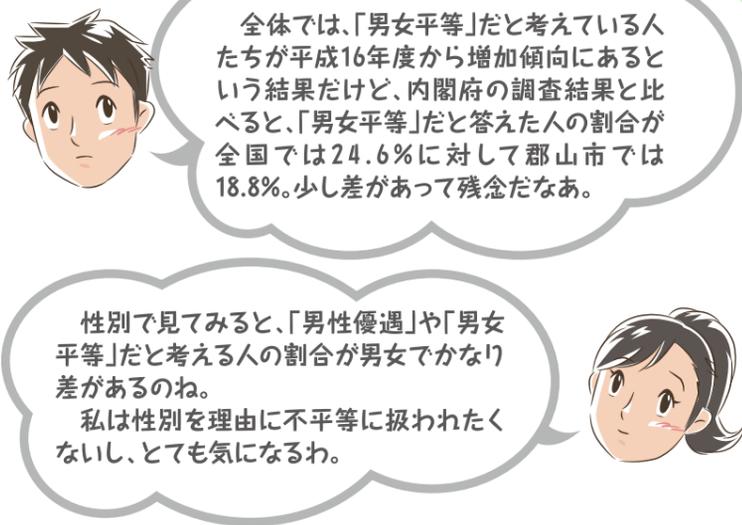


あなたは、次のような人権侵害を受けたり、身近で見聞きしたことがありますか



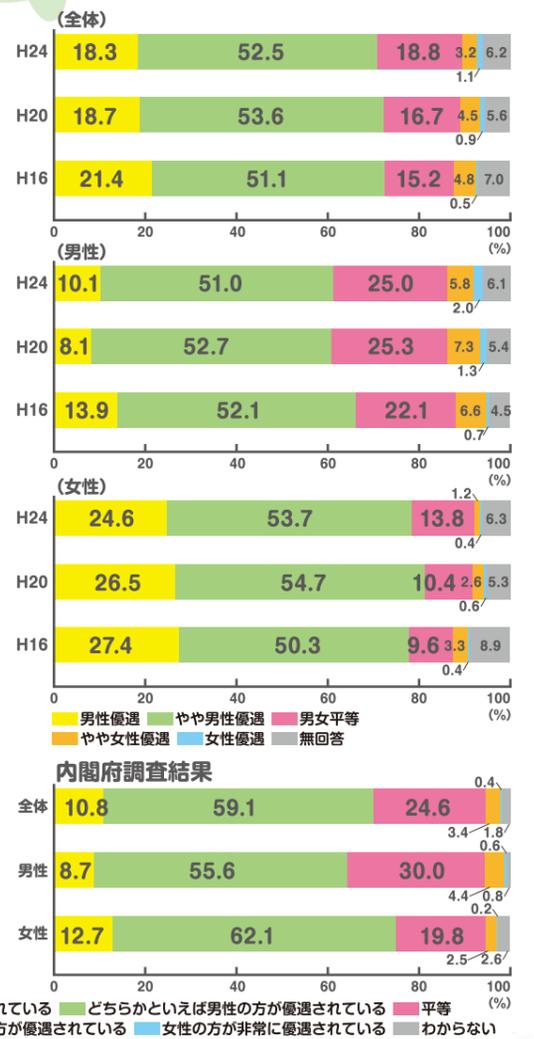
「①セクハラ」及び「②DV」は、「自分が受けた」・「身近で見聞きした」が前回調査と比べ、それぞれ5.7%、4.7%増加しています。「③パワハラ」は、「自分が受けた」・「身近で見聞きした」の割合が、過半数となる53.5%でした。職場等においての人権侵害や家庭等でのDV被害については、増加傾向にあることがわかります。

1 男女平等意識について



前回調査(H20)と比べ、全体で「男性優遇」が0.4%、「やや男性優遇」が1.1%減少し、「男女平等」は2.1%増加しています。「男性優遇」・「やや男性優遇」の割合を性別で見ると、郡山市では女性78.3%、男性61.1%ですが、全国では女性74.8%、男性64.3%と、全国に比べると意識の差が現れています。

あなたは、社会全体において男女の地位が平等だと思いますか



今の職場で、仕事の内容や待遇面において女性は男性に比べ、具体的にどのようなことで差別されていると思いますか

※働いている方で、今の職場で差別が「ある」と回答した方が対象



過去の調査結果と比較すると、多くの項目で差別されていると回答した人の割合が増加しているね。雇用の場では、まだまだ男女平等とは言えないな。

「結婚、出産による仕事が続けにくい雰囲気がある」・「無回答」を除いて、全ての項目で女性が差別されていると感じる回答が増加しています。特に、賃金、昇進・昇格についての差別を選択した人が過半数となっており、このことは、固定的性別役割分担意識が依然として根強く残っていることを示しています。

震災と男女共同参画

震災後、男女共同参画について感じたことや、考えたことはありますか

20代男性 男女共同参画の社会には賛成するが、男と女では、力仕事などに関してどうしても男性の方が得意とする分野などが、体のつくりからあると思います。(女性が得意とする分野も逆にあると思います。)そのため、その得意な分野までも無視して行う必要はないのでは。

30代女性 男性には男性にしかないすぐれた所がありますし、女性には、女性ならではのすぐれた所がありますので、同じラインに立つときには、お互いを尊重し、相手の方がすぐれている時には、日本人の精神である“ゆずり合い・おたがいさま”を大切にすれば、上手くいくと思います。

50代女性 心身共に皆がたいへんだったので、男でも女でも、家族、地域など協力が必要と思いました。

40代女性 震災復興や放射能汚染への対応に関して、責任ある立場の人間(政治家、行政、企業等)のほとんど全てが、男性であり、男性の視点でのみ進められてきた(いる)ことに違和感を持ちました。

40代女性 私は今、郡山を離れ他県に一時避難しておりますが、避難先で頂いた支援物資に、少し違和感を覚えました。やはり女性の視点が欠けていたように思います。しかも、幅広い年代層の女性の視点が必要でした。復興には、更にこれらの視点が必要になってくると考えます。

40代男性 男女共協力し、調和を図りながら生活していこうとする考えが強まったように思える。

50代男性 復興のためには、男も女も関係ないと感じた。

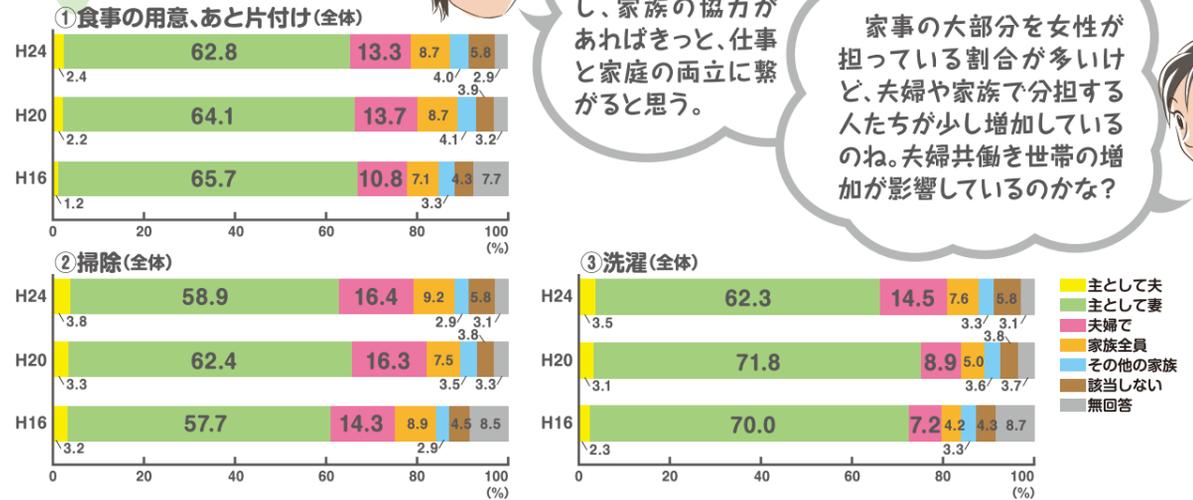
災害時だけでなく、今後の復興に向けて男女共同参画の視点は欠かせないんだね。男女共同参画について、みんなの理解が更に深まれば、きっと復興が早まるし、よりよいまちづくりができると思うよ。

男女が共に不安や不自由を感じる事が無いよう、お互いの長所や能力を尊重して協力することが重要ね。私たちも頑張ろう!

皆さまの意識と比べてみて、どうでしたか? 調査の詳細については、男女共同参画課のウェブサイト (<http://www.city.koriyama.fukushima.jp>) に、内閣府の「男女共同参画社会に関する世論調査」については、内閣府ウェブサイト (<http://www.cao.go.jp/>) にそれぞれ掲載しております。ぜひご覧ください!

3 家庭生活について

次にあげるような家事を誰が分担していますか



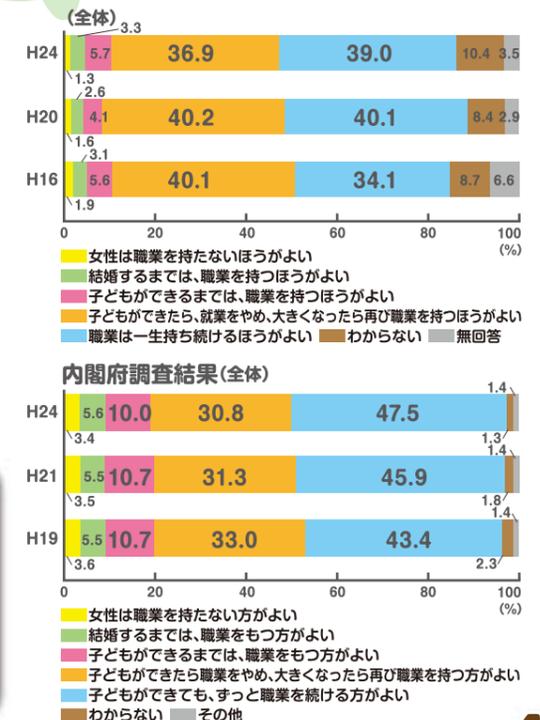
「①食事の用意、あと片づけ」及び「②掃除」については、「主として夫」・「主として妻」の割合は前々回からの調査と比べて概ね横ばいとなっており、大きな変化は見られません。「③洗濯」については、前回と比べて「主として妻」が9.5%減少し、「夫婦で」が5.6%増加しています。

4 職業について

あなたは、女性が職業を持つことについて、どう考えますか



「職業は一生持ち続ける方が良い」が今回減少に転じており、内閣府調査での同種の回答は47.5%と、増加傾向にあり、ここでも、本市と全国の意識の差が現れています。



※回答結果を百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

郡山市男女共同参画センター開館10周年記念 第11回郡山市男女共同参画フェスティバル

3月8日(金)～10日(日) 会場:郡山市民文化センター

9日(土)

講演会

講師 前千葉県知事、男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表 堂本 暁子さん

男女共同参画社会基本法 施行14年をふりかえって ～この14年で大きく変わったこと、変わらなかったこと～

参議院議員や千葉県知事を務めた経験をお持ちの堂本さんは、男女共同参画社会基本法の施行により、全国に活動拠点となる施設の設置や条例の制定が推進されてきましたが、現在も雇用のあり方や女性の貧困問題など、多くの課題が社会問題となっているということをお話になりました。

また、東日本大震災において、避難所等で女性の視点やニーズが反映されないことは、こうした常日頃の社会の歪み・差別等が顕在化したものであることを指摘され、この状況を変えるには、女性が主体的に声を上げ、意思決定の場への女性の参画推進が必須であり、平常時における男女共同参画の視点を持った地域づくりこそが災害に強い地域づくりとなり、21世紀型の災害対策であるということをお話になりました。



9日(土)

オープニングセレモニー

「郡山市民の歌」斉唱で、フェスティバルの幕が上がりました。続いて平成24年度男女共同参画推進事業者表彰式と「自分らしく生きるための作文コンクール」の表彰式が行われました。

事業者表彰式では、女性の能力活用や、男女がともに働きやすい環境づくりなどに積極的に取り組んでおり、男女共同参画社会の形成に寄与していると認められた2事業者が表彰されました。その後、作文コンクールの表彰式が行われ、最優秀賞を受賞した松本 柚さんによる作文の発表がありました。



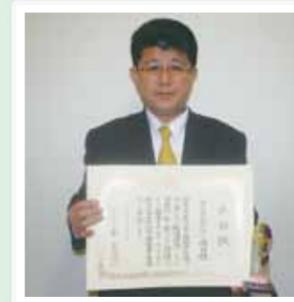
原 正夫郡山市長あいさつ



最優秀賞 松本 柚さんの作品発表

平成24年度 郡山市男女共同参画推進事業者表彰 (敬称略)

●株式会社エスピー商会 ●株式会社福島県折込広告社



自分らしく生きるための 作文コンクール優秀賞表彰 (敬称略)

◎最優秀賞 松本 柚 ○優秀賞 苅宿 紗英
中山 未悠
古川 絵梨
吉田 仙太郎



左:苅宿 紗英さん 右:松本 柚さん

10日(日)

ふれあい発表会

さんかくプラザで活動している踊りや音楽のサークルが日頃の練習の成果を発表しました。



参加団体 ※発表順

- ハートフル・バイオリン・アンサンブル
フルートアンサンブル・ドルチェ
- あじさいフォークダンスクラブ
- 華の舞
- 静山流詩舞静慧会
福島県本部
- ハワイアン・フラ愛好会
(カマロリ)
- 華翔クラブ

8日(金)

10日(日) 展示コーナー

さんかくプラザで活動している各種団体が、日頃の活動の成果を発表しました。



9日(土)

10日(日) 市民自主企画

市内で活動するグループ又は団体の皆さんが、それぞれ企画した講座などを実施しました。

企画【団体名】

- 原発に頼らない社会の実現「シェーナウの想い」を観て考える
(ドイツ・小さな町シェーナウ市民の活動の記録)
【平和と民主主義を守る女たちの会(鳩の会)】
- こころとからだを癒すワークショップ
～被災者支援にかかわる女性たちを対象に～
【NPO法人市民メディア・イコール】
- 紙芝居でみる歴史のなかの女性たち【まなびの会】
- 変わる世界 変えよう日本～海外視察 研修報告会～
【(一社)国際女性教育振興会福島県支部県中地区】

